

第2回粟国空港PI評価委員会 議事要旨

- ① 日時 平成21年12月8日(火) 13:30~15:20
- ② 会場 粟国村 離島振興総合センター

③ 出席者

粟国空港PI評価委員会委員

沖縄国際大学 経済学部 教授	大城 保 (委員長)
琉球大学 工学部 教授	堤 純一郎
フリージャーナリスト	崎山 律子

粟国空港協議会

沖縄県 土木建築部 土木整備統括監	当間 清勝
粟国村長	新城 静喜
沖縄県 土木建築部 空港課長	与那覇 義博
粟国村副村長	伊佐 文宏

④ 議題

- (1) 第1回粟国空港PI評価委員会における議事要旨について
- (2) 第1回粟国空港PI評価委員会の指摘事項と対応方針について
- (3) PI実施計画書(素案)の変更案について
- (4) 「PI実施計画書(案)」のダイジェスト版(案)について
- (5) その他

⑤ 配布資料

- 資料1：第1回粟国空港PI評価委員会 議事要旨
- 資料2：第1回粟国空港PI評価委員会の指摘事項と対応方針
- 資料3：「PI実施計画書(素案)」の変更対照表
- 資料4：「PI実施計画書(案)」のダイジェスト版(案)
- 資料5：粟国空港PI評価委員会 審議予定
- 資料6：粟国空港整備計画における基本計画(案)の策定までの進め方(案)

【議事における主な発言内容】

(大城委員長) 今日の議事は5つあります。議事1は前回の委員会の議事要旨について、議事2はP I 評価委員からの指摘事項とその対応方針について、議事3は対応方針を受けて変更したP I 実施計画書(素案)になりますので、議事2と3はまとめて行いたいと思います。議事4は前回の委員会で作成しようとしたダイジェスト版(案)になります。議事5は今後のスケジュールを含めた、その他になります。

(1) 第1回栗国空港P I 評価委員会における議事要旨について (議案1:資料1)

(大城委員長) 資料1の「前回の委員会の議事要旨」はホームページに公表するということで、委員の先生にはすでに配布され、ご確認いただいていると思います。議事要旨について変更点等はありませんか。

(委員一同) 特にありません。

(大城委員長) 議事要旨は前回の我々の議論の中身が十分に整理されているということで、承認したいと思います。

(2) 第1回栗国空港P I 評価委員会の指摘事項と対応方針 (議案2:資料2)

(3) P I 実施計画書(素案)の変更案について (議案3:資料3)

(事務局) 資料2、3について説明

(堤委員) 非常によく修正されていますので、特にありません。

(崎山委員) 非常によくまとめられていると思います。気になった点は、12月6日に栗国村で「栗国空港の拡張整備」の早期実現に向けた総決起大会が行われたようですが、村長は、実施計画書(素案)の表紙のタイトルが「拡張整備計画に関するP I」ではなく「整備計画に関するP I」となっているのは、大丈夫でしょうか。

(協議会:新城) 郷友会ではこれまで「栗国空港拡張整備事業」ということで、沖縄県に拡張整備の要請を行ってきました。整備計画に変更すると、トーンダウンした印象を受けます。拡張整備は費用対効果ではなく、村の将来の発展を見据えて取り組んでいきたい。拡張整備ありきではないことはわかりますが、計画が消えてしまうのではないかという心配もありますし、できれば拡張という表現を使う方が良いと思います。

(事務局) P Iの実施は、透明性の確保が前提にあります。第1回の評価委員会で委員の方からもご指摘があったように、拡張ありきという誘導的な資料の作成は好ましくないもので、今回「拡張整備」という表現は控えさせていただきました。「整備計画」という表現は、あくまでもP Iを進める上での取り扱いであって、村が独自で県に要請・要望する場合は、村の強い意志を表すために「拡張整備」を使用しても良いと考えます。P Iについては、

真っ白な状態で村民に意見を聞くために、そのような表現にしています。

(**崎山委員**) 村民の拡張整備への思いと今回のP Iの果たす役割は、村民だけでなく粟国島に来たいと思う人も含め、幅広く意見を聞かないといけません。拡張整備実現運動の1つの手段として使うのではなく、粟国空港がどんな空港かを多くの人に知ってもらうことがP Iの大きな役割であることを、村民の方にご理解いただきたいと思います。

(**大城委員長**) 定期就航が運休しているということは、再開するということがよろしいでしょうか。

(**協議会：当間**) 定期就航が運休なのか廃止となったのかについては、琉球エアコミューターからは、拡張すれば定期路線の就航を再開すると聞いていました。しかし、日本航空の問題等もあり、那覇ー粟国路線の再開については、情報を確認する必要があります。

(**大城委員長**) 資料2の指摘事項と対応方針と資料3の実施計画書(素案)に関する内容は承認しました。

(4)「P I実施計画書(案)」のダイジェスト版(案)について (議案4：資料4)

(**大城委員長**) P I実施計画書(案)は内容がわかりにくく、中身を読み、理解してくれる人が少ないと思うので、多くの意見を収集するために、今回P I実施計画書(案)のダイジェスト版を作成していただきました。

(**事務局**) 資料4について説明

(**堤委員**) 表紙にある台風が、慶良間列島の上空にあるため、慶良間列島がかわいそう。

表紙のタイトルの「滑走路の整備計画を検討しています。」でも良いと思うが、「粟国空港の整備計画についてご意見をお聞かせください」の方が簡単で良いかなと思います。

1頁の「粟国空港はどこにある？」は必要ないと思う。P Iの対象者は粟国村民ですし、2頁の「粟国空港の現状と課題」に粟国村の情報を含めて、タイトルを「粟国島と粟国空港の現状と課題」にしても良いのではないかと思います。

2頁の一番上の青い帯は「基本方針」となっているが、3頁は「P Iはどのように進められるの?」ということで、クエスチョンマークが付いています。青の帯も同様に、疑問文のところと、そうでないところがあり、統一性をとった方が良いと思います。最後のページの青い帯は仕方がないと思います。

(**事務局**) 2頁だけが統一性がないので、他のページと整合を取るような形式で検討したい。

(**崎山委員**) 表紙に登場している人が男性だけなので、女性も入れた方が良いと思います。

「多少の悪天候もへっちゃら」や「天候が悪いと欠航です」は後ろのページに持っていき、

慶良間列島の上にある台風はいらなと思います。沖縄本島と慶良間列島は、那覇の●(点)があればいらなと思います。その代わりに、粟国島をもう少し強調してほしい。また、「意見を聞かせてほしい」ということを述べるべきであり、フェリーや新旧2つの飛行機が必要であるとは思いません。むしろ航空機を1機にして、夢に向かって、将来の空への可能性を表現した方が良いのではないかと思ひます。もう少しすっきりして、インパクトがある形にして、意見を寄せてみようと思ひるように、メッセージを強調しないといけなと思ひます。

この冊子は粟国島の人たちに届けられますが、同時に県外の多くの方たちの目に粟国島が触れる機会になります。粟国島に行ったことがない人が、P Iを通して粟国島を知るきっかけになるかもしれないので、この活動を最大限にアピールの場にするために、粟国村の紹介を入れた方が良いと思ひます。

(事務局) 慶良間列島の上にある台風を表現した意図は、台風が粟国島から遠くあっても波が高くなりフェリーが運航できないことを表現しているので、表現の位置を検討したい。あと、「意見をお寄せください」ということを印象づけるために、表紙をすっきりさせて、助言を反映させるように修正案を検討したい。

(大城委員長) 表紙の「粟国空港のパブリックインボルブメントの進め方について」は長いので、パブリックインボルブメントで区切ってしまっても良いと思ひます。下を書いてある「パブリック・インボルブメントとは」は後ろのページにもありますし、お年寄りには白い文章が小さくて見えないと思ひるので、工夫していただきたい。

4頁の「P I活動の活動内容と実施期間」は、3頁のP I実施計画書(案)に対する意見募集ではなく、整備計画(案)に対する意見募集だと思ひのですが、それがどちらの意見募集の内容なのかがわかりにくいです。

(事務局) 今回は実施計画書(案)に対する意見募集ですので、3頁の平成21年12月と書かれたみなさまの意見募集になります。このため、最後のページのタイトルにも、「P I実施計画書(案)への意見募集」と記載しています。

(大城委員長) 3頁のP I活動に対する意見募集だと誤解してしまう可能性があります。今回は、P I実施計画書(案)を成案にするために行う意見募集であることをわかりやすく明示してほしいです。

(事務局) 今回は、P I実施計画書(案)に対する意見募集なのか、P I実施に対する意見募集なのかがわかりづらくなっているため、3頁に「今回はP I実施計画書(案)に対する意見募集である」というような表現で、わかりやすく工夫して修正したい。

(堤委員) 4頁の「P Iの対象者と実施体制」について、P I対象者に粟国村民と沖縄県民があるが、これは本来ならば沖縄県民の中に粟国村民が入っていると思ひます。

このダイジェスト版は中綴じでも良いと思ひますが、横長の中折りの1枚の方が良いのではないかと思ひます。

(事務局) 中折りにすると記載する順序(流れ)がわかりづらくなってしまわないか
と思いますので、1ページずつめくる冊子の方が、流れを把握する意味では、理解しやす
いのではないかと思います。

(崎山委員) 3頁では、誤解を与えないように、今回はP I実施計画書(案)に対する意見
募集であることを明示する必要があると思います。

(大城委員長) 今までの意見を踏まえて、修正を行ってください。

(協議会：新城) 1頁の「粟国空港の現状と課題」について、「就航機材 BN-2 の退役によ
り定期路線が廃止」の「廃止」の部分になりました。確かに琉球エアコミューター(株)
は5月で撤退しましたが、定期路線は一時運休ということで理解しています。「廃止」なの
か「一時運休」なのか、どちらなのでしょう。

(事務局) 琉球エアコミューター(株)が、国に提出した届出では、「廃止」という表現を使用
しています。12月に琉球エアコミューター(株)から沖縄県に送付された文書では、滑走路
が延長されれば、新機材で就航するという内容になっています。また、第一航空(株)の路線
継続は「新規就航」扱いとなっています。このため、廃止は一部運休という意味も含んで
おり、表現については、事務局で検討したい。

(大城委員長) そのほかに意見はないでしょうか。ないようですので、委員からの意見を粟
国空港協議会の中で検討し、修正していただきたいと思います。修正版については、委員
会を開催せず、各委員に持ち回りで確認していただき、承認を得てもらうことで宜しくお
願いします。

以 上